

## 公募審査（採択）結果の公表

令和5年5月26日  
経済産業省 産業技術環境局 技術振興・大学連携推進課

事業名：令和4年度第2次補正予算「中小企業イノベーション創出推進事業」に係る事務局の公募

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
株式会社野村総合研究所	4010001054032	2,397,864,000

(提案事業者名)

- ①株式会社野村総合研究所  
②PwCコンサルティング合同会社

(審査委員属性)

大学教授  
弁護士  
会計士・弁護士  
民間企業経営者  
※審査委員の属性と下記にある委員の順番は対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	委員D	合計
株式会社野村総合研究所	99	86	68	80	333

※提案事業者名と下記にある事業者名の順番は対応していない

提案事業者名	応募資格	提案内容が本事業の目的、業務内容に合致しているか。	事業の実施方法が具体的かつ現実的か。	事業の実施方法等について、本事業の成果を高めるための効果的な工夫が見られるか。	本事業を円滑に遂行するために、事業規模等に適した実施体制をとっているか（情報管理に関する取扱いを含むものとする）。	事業を遂行するための資力、資金調達能力を有しているか。資金計画は妥当か。	本事業の関連分野に関する知見を有しているか。	事業の実施スケジュールが現実的か。	コストパフォーマンスが優れているか。また、必要となる経費・費目を過不足無く考慮し、適正な積算が行われているか。	合計
株式会社野村総合研究所	適	34	16	99	67	35	50	18	14	333

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
株式会社野村総合研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>募集要領の細目全てにおいて、具体的な提案を行っており、安心感のある提案である。また、様々な有力機関との連携を図ろうという計画は、スタートアップ支援とエコシステム形成という趣旨に合致している。但し、外注先が多岐に亘るため、厳密な管理が必要である。</li> <li>多数の実績を有しているだけあって、事業の実施スケジュールや役割分担等については、極めて現実的かつ合理的である。実施計画や伴走支援体制の内容については、若干抽象的な部分があり、具体性に欠ける部分がある。</li> <li>補助金申請者の事務手続きの煩雑さを軽減するための具体的で実績のある提案がなされており、補助金申請者に配慮した提案がなされている。経費の執行状況や企業の経営・財務状況をモニタリングする仕組み、更には事業終了後の財産管理・会計検査院への対応についても具体的な提案がなされている。</li> <li>プロジェクトの実行管理を精度高く、またタイムリーに遂行する能力が応募書類に表現されている点は評価できる。研究・調査・アドバイスという枠組みを超え、グローバルな環境における早急な市場開拓と企業価値創造やビジネス・デベロップメントにおける伴走者としての意欲と当事者意識に不満を感じる。</li> </ul>